



視覚障害者の情報入手を助けるA Iスピーカー（資料）

A Iが視覚障害者手助け

29日にスピーカー体験会 松江

A I（人工知能）が視覚障害者の暮らしを豊かに。視覚障害者に情報を提供するライトハウスライブラリー（松江市南田町）が

29日午前10時から正午まで、天気やニュースを音声で伝えるA Iスピーカーの使用体験会を同所で開く。

視覚障害者の情報入手を助けるA Iスピーカーの有効性を広く知ってもらう。20日までに申し込む。

視覚障害者はパソコンやスマートフォン音声読み上げ機能などを使ってさまざまな情報を手に入れているが、操作が容易ではなく、高齢者からは敬遠されてきた。情報の入手は、移動と並ぶ二大困難と呼ばれている。

A Iスピーカーは、設置作業さえ完了すれば「今日の天気は...」最新のニュ

ースは？」と呼び掛けるだけで返答がある。音楽や落語も聞けるなど、多彩な機能を持つ。ライブラリーの庄司健主任情報支援員（46）は「A Iスピーカーを使う際のハードルは、スマホなどに比べてかなり低い」と話す。

体験会では、災害時の避難所やごみ出しに関する情報などを紹介するA Iスピーカー向けのアプリを開発する八雲ソフトウェア（松江市朝日町）が協力し、数台を用意。使い心地を体験してもらうほか、欲しいアプリなどの要望を聞き、今後の開発に生かす。

庄司さんは「目が見える人と同じような便利を享受して暮らすには、同じ情報を持っていることがとても大事。情報の差を埋めるツールになると知ってほし

い」と話す。
参加費500円。問い合わせはライトハウスライブラリー、電話0852（24）8169。（陰山篤志）